

(受住 7 - 1)

榎島吹前市営住宅 9 号棟外壁ほか改修工事

図面番号	図 面 名 称	縮 尺
A - 00	表紙・図面リスト	――
A - 01	共通特記仕様書	――
A - 02	特記仕様書 - 1	――
A - 03	特記仕様書 - 2	――
A - 04	特記仕様書 - 3	――
A - 05	特記仕様書 - 4	――
A - 06	特記仕様書 - 5	――
A - 07	付近見取図・配置図兼仮設計画図・仕上表	1/500・1/2500
A - 08	改修 1 階平面図	1/100
A - 09	改修 2 階～ 5 階平面図	1/100
A - 10	改修 屋根伏図	1/100
A - 11	改修 東立面図	1/100
A - 12	改修 西立面図	1/100
A - 13	改修 南立面図	1/100
A - 14	改修 北立面図	1/100
A - 15	防水各部詳細図	1/3・1/10
A - 16	ゴミ置場 改修図	1/50
A - 17	東駐輪場 改修図	1/50・1/20
A - 18	西駐輪場 改修図	1/50・1/20
A - 19	外部足場 1 階平面図（参考）	1/100
A - 20	外部足場 東立面図・西立面図（参考）	1/100
A - 21	外部足場 南立面図・北立面図（参考）	1/150

建築改修工事特記仕様書

【1】 工 事 概 要

1. 工事場所 _____
2. 敷地面積 _____ m²
3. 建築物概要 _____

[illegible]

4.その他

【2】適用範圍

現場説明書(質疑回答書を含む)、**本特記仕様書・図面、改修標準仕様書に示す範囲とする。**

すべての設計図書は相互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官庁官庁管部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」(平成31年版)を用いる。(以下、「改修標準」という)

本書に特に記載のない事項にあっても、すべて、「改修標準」の適用を受けるものとする。

【3】~~工~~事区分

設計図書による。

別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

【4】工事仕様

- 1.設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修標仕」のほか別記の適用基準による。
- 2.項目は、番号に●印の付いたものを適用する。
- 3.特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、●印の付いたものを適用する。
印と●印の付いた場合は、共に適用する。印が消された場合は、●印のみ適用する。
- 4.項目及び特記事項に記載の()内表示番号は「改修標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項	目	特	記	事	項
1	一般共通事項	適用基準等	○ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 平成31年版（監修：国土交通省） ○ 建築工事標準詳細図 平成28年版（監修：国土交通省） ○ 敷地調査共通仕様書 令和元年版（監修：国土交通省） ○ 建築構造設計基準及び参考資料 平成30年版（監修：国土交通省） ○ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 平成31年版（監修：国土交通省） ○ 公共建築木造工事標準仕様書 平成31年版（監修：国土交通省） ○ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） 平成31年版（監修：国土交通省） ○ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編） 平成31年版（監修：国土交通省） （注：監修欄「国土交通省」は国土交通省大臣官房官庁審議部を示す）			
		建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図面に規定するもの又はこれらと同等のものである。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。 下記材料品目は、国土交通省大臣官房官庁審議部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」にある材料とする。 また、同等評価書の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとして行うことができる。 （評価名簿によるもの） 床型枠用鋼製デッキプレート（77αデッキ）、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材（グレミタX形、現場混合形）、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材（防水立上部）、陶磁器質タイル、既製調合モルタル（タイル工用）、既製調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材（タイル用）、アルミニウム製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類（シリガ錠錠、バードハド、シリガ本錠締り）、クローザー類（ドアアダー、ピンアダー、アパピン）、自動車機庫（制御装置・駆動装置、検出装置、制御装置・駆動装置・検出装置）、自閉式上吊り引戸機構（手動開き式）、重量シャッター、軽量シャッター、オールヘッドドア、ガラス（70+板ガラス、型板ガラス、網入板ガラス・線入板ガラス、熱線吸収板ガラス、倍強度ガラス、熱反射（反射）ガラス）、ガラスブロック（中空）、防水剤、現場発泡断熱材、77α77（3000、5000）、可動間仕切、移動間仕切（37αシグナード）、トイレブス、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム（屋上緑化システム、屋上緑化軽量システム）、トプラット、エポキシ樹脂、タイル部分張替え用接着剤、ポリマーマセメントモルタル、鉄製製ふた（マンホールふた・弁根ふた）			

章

項 目

特 記 事 項

一般共通事項

特別な材料の工法

設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

1 風圧力及び積雪に対する性能

建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分等
風速（V0）

○ 3 2

○

○

（平成12年5月31日建設省告示第1454号）

地表面粗度区分

○

○

○

多雪地域の指定

○ なし

○ あり

現場代理人

本工事の施工にあたっては、工事請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。

工事工程報告

月報は毎月末日に、メ、翌月5日までに提出する。
日報は監督職員の指示による。
週報は毎週（ ）曜日に提出する。

工事実績情報の登録（1.1.4）

適用する（適用事項は、現場説明書による）

○ 適用しない

設備工事との取合い

施工範囲
○ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の壁枠及びそれらの補強
○ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強
○ 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ
○ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
施工図
設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。

施工図等の取扱い（1.2.3）

施工図等の著作権に権を有する当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲される。

工事写真（1.2.4）

工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（最新版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）によるほかは監督職員の指示による。
下記ものを監督職員に提出する。

部 数（ネガ1枚につき）	分 類 ・ 規 格	原版の大きさ（mm）
着 工 前	○ 1 ○	○ カラーサービス版 ○ 24×36以上
工 事 中	○ 1 ○	○ カラーサービス版 ○ 24×36以上
屋 内	○ 2 ○	○ カラーサービス版 ○ 24×36以上
（ ）箇所	○	○ カラーキャビネ版 ○ 60×70以上
完 成 時	○ 2 ○	○ カラーキャビネ版 ○ 24×36以上
外 観	○	○ カラーバネル半切 ○ 60×70以上
（ ）箇所	○	○ カラーバネル半切 ○ 60×70以上

写真をデジタル写真で撮影する場合には、完成写真については有効画素数300万画素程度、工事写真は有効画素数130万画素程度とし、黒板の文字等の内容が判読できる精度を確保するものとする。
完成写真撮影場所は、監督職員の指示による。
○ 完成写真撮影業者は、監督職員の承諾する撮影業者（建築写真専門業者）とする。

11 電気保安技術者（1.3.3）

適用する

施工条件（1.3.5）

現場説明書による

発生材の処理等（1.3.12）

○ 引渡しを要するもの（ ）
○ 工事現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの（ ）
○ 指定副産物の搬出（詳細は現場説明書による）
○ アスファルトコンクリート塊 ○ セメントコンクリート塊 ○ 建設発生木材
○ 指定副産物の処分地（詳細は現場説明書による）
○ 指定地処分（ ）
○ 自由処分（最寄りの再資源化施設へ搬出すること）
○ 指定副産物以外の搬出
○ 構外搬出適切処理 ○（ ）
○ 特別管理産業廃棄物

種 類	処 理 方 法
○ 廃石綿等	
○ P C B を含む機器類	
○ P C B 含有シーリング	
○ 廃油	
○ 廃酸・廃アルカリ（臭化リチウム）	
○ 廃酸・廃アルカリ（蓄電池電解液）	
○ S F 6 ガス使用機器	

○ 廃石綿の処分地（ 東京都環境保全公社瑞穂センター ）

せっこうボードの処理方法
○ 石綿含有せっこうボードの処理 改修構仕9.1.5による
○ ひ素・カドミウム含有のせっこうボードの処理
○ 製造業者にて処分 ○ 埋立処分
○ その他のせっこうボードの処理
○ 最終処分 ○ 再資源化

章	項目	特記事項
1 <		

2

仮設工事

1

足場その他
(2.1.3)
(2.2.1)

労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。

外部足場

- 施行箇所に柱組足場を設ける。
- 施行箇所面にくさび緊結式足場を設ける。
- 施行箇所面に単管本足場を設ける。
- 仮設コンドラを使用する。
- 移動式足場を使用する。

内部足場

- 脚立、足場板等

防護シート等

- 防音パネル
- 防音シート
- 養生シート
- ネット及び養生シート

材料、撤去材等の運搬方法

- A種
- B種
- C種
- D種
- E種

(表2.2.1)

足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 葛発第0424001号)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中柵及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。屋根工事及び小屋組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971(屋根工事用足場及び施工方法)の施工標準に基づく足場及び装備機材を設置すること。

2

既存部分の養生
(2.3.1)

既存部分の養生

行う(ビニールシート、合板)

○ 行わない

既存家具・既存設備等の養生

行う(ビニールシート)

○ 行わない

既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管

行う

○ 行わない

養生の方法

○ 取り外しのうえ清掃

保管場所

○ 室内にてカバー掛上の、適切保管

家具の移動

行う(図示)

○ 行わない

3

仮設間仕切り
(2.3.2)

○ 設ける (図示)

種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填
○ A種	○ せっこうボード 種類 ○ GB-R 厚さ ○ mm ○ 9.5mm	○ なし ○ 片面 ○	グラスウール ○ 24kg/m ³ ○ 厚さ ○ 50mm
○ B種	○ 合板 材質 ○ 珪藻合板 厚さ ○ mm ○ 9mm		
C種	全面シート張り		

○ 設けない

4

監督職員事務所
(2.4.1)

規模

○ 10㎡程度

○ 20㎡程度

○ 35㎡程度

○ 65㎡程度

○ 100㎡程度

仕上

床

○ 合板張り素地

○ ビル床シート敷き

○ バンカベット敷き

内壁、天井

○ 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エポキシペイント塗り

屋根

○ 塗装溶融亜鉛めっき銅板張り

○ 鉄板張り調査ペイント塗り

休憩室

○ 設けない

○ 設ける(畳敷き)

備品

○ 机

○ いす

○ 保護帽

○ ゴム長靴

○ 雨がっぱ

○ 衣類ボックス(上記6品、____人分程度)

○ 書棚

○ 黒板

○ 製図機

○ 掛時計

○ 温度計

○ 消火器

○ 掃除機

○ 懐中電灯

○ 湯沸器

○ 加入電話機

○ 冷暖房機器

○ コピー機

○ ネット回線

○ 流し台

○

○ 改修仕様(平成31年版)

○ 建築改修工事監理指針(令和元年版)

○ 建築工事施工チェックシート

○ 建築工事標準詳細図(平成28年版)

○

5

工事用水

構内既存の施設

○ 利用できない

○ 利用できる

(○ 有償

○ 無償)

6

工事用電力

構内既存の施設

○ 利用できない

○ 利用できる

(○ 有償

○ 無償)

7

仮囲い等

○ 図示による

8

設計 G L

○ 図示による

○ 設計 G L = 現状 G L

備考	吉 村 建 築 事 務 所 1級建築士登録第248236号 吉 村 薫			工事名 榎島吹前市営住宅9号棟外壁ほか改修工事	設計年月日 R 7 . 5	図面番号 A - 02	
				図面名 特記仕様書 - 1	縮尺 _____		

4

①

施工数量調査
(1.5.2)

調査範囲

● 外壁改修範囲

○ 図示の範囲

調査内容

ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を確認する。

モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。

コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。

塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。

既存部分の破壊を行った場合の補修方法

○ 図示

○ _____

調査報告書の部数

● 2部

○ _____

● 施工に先立ち、建築仕上診断技術者（BELCA）による外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。

○ コンクリート打直し仕上げ（基礎）

○ 樹脂注入方法

工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（mL/m）
○ 自動式低圧Ⅰ※ 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200～300	○ 130
○ 手動式Ⅰ※ 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	○ 50～100	○ 40
○ 機械式Ⅰ※ 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	○ 100～200	○ 70
	0.5以上1.0未満	○ 150～250	○ 130

エポキシ樹脂

○ 低粘土形

○ 中粘土形

コア抜き検査

○ 行う

○ 行わない（注入状況確認方法 _____）

抜き個数

長さ500mmごと及びその端数につき1個

抜き部の補修方法

○ 図示

○ _____

○ Uカットシール材充填方法

○ シーリング材

充填材料

○ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系

○ _____

ポリマーセメントモルタルの充填

● 行う

○ 行わない

○ 可とう性エポキシ樹脂

○ シール工法

○ パテ状エポキシ樹脂

○ 可とう性エポキシ樹脂

● モルタル塗り仕上げ

○ 樹脂注入方法

工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（mL/m）
○ 自動式低圧Ⅰ※ 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200～300	○ 130
○ 手動式Ⅰ※ 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	○ 50～100	○ 40
○ 機械式Ⅰ※ 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	○ 100～200	○ 70
	0.5以上1.0未満	○ 150～250	○ 130

エポキシ樹脂

○ 低粘土形

○ 中粘土形

コア抜き検査

○ 行う

○ 行わない

抜き個数

長さ500mmごと及びその端数につき1個

抜き部の補修方法

○ 図示

○ _____

○ Uカットシール材充填方法

○ シーリング材

充填材料

○ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系

○ _____

ポリマーセメントモルタルの充填

● 行う

○ 行わない

○ 可とう性エポキシ樹脂

○ シール工法

○ パテ状エポキシ樹脂

○ 可とう性エポキシ樹脂

○ ③

次損部改修
(4.1.4)
(4.2.2)

● コンクリート打直し仕上げ

○ 樹脂注入方法

工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（mL/m）
○ 自動式低圧Ⅰ※ 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200～300	○ 130
○ 手動式Ⅰ※ 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	○ 50～100	○ 40
○ 機械式Ⅰ※ 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	○ 100～200	○ 70
	0.5以上1.0未満	○ 150～250	○ 130

エポキシ樹脂

○ 低粘土形

○ 中粘土形

コア抜き検査

○ 行う

○ 行わない

抜き個数

長さ500mmごと及びその端数につき1個

抜き部の補修方法

○ 図示

○ _____

○ Uカットシール材充填方法

○ シーリング材

充填材料

○ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系

○ _____

ポリマーセメントモルタルの充填

● 行う

○ 行わない

○ 可とう性エポキシ樹脂

○ シール工法

○ パテ状エポキシ樹脂

○ 可とう性エポキシ樹脂

○ ⑤

タイル張り改修工法
(4.4.16)
～ (4.4.15)

○ タイル張り仕上げ

○ 樹脂注入方法

工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（mL/m）
○ 自動式低圧Ⅰ※ 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200～300	○ 130
○ 手動式Ⅰ※ 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	○ 50～100	○ 40
○ 機械式Ⅰ※ 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	○ 100～200	○ 70
	0.5以上1.0未満	○ 150～250	○ 130

エポキシ樹脂

○ 低粘土形

○ 中粘土形

コア抜き検査

○ 行う

○ 行わない（注入状況確認方法 _____）

抜き個数

長さ500mmごと及びその端数につき1個

抜き部の補修方法

○ 図示

○ _____

○ Uカットシール材充填方法

○ シーリング材

充填材料

○ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系

○ _____

ポリマーセメントモルタルの充填

○ 行う

○ 行わない

○ 可とう性エポキシ樹脂

○ シール工法

○ パテ状エポキシ樹脂

○ 可とう性エポキシ樹脂

○ ⑦

タイル撤去後の補修

工法	材 料	施 工 箇 所
○ タイル部分張替え工法	○ ポリマーセメントモルタル	
	○ 変成シリコン樹脂	
	○ ウレタン樹脂	
○ タイル張替え工法		

● コンクリート打直し仕上げ

○ 樹脂注入方法

工法	材 料	施 工 箇 所
○ 充填工法	エポキシ樹脂モルタル	P C 版
	○ ポリマーセメントモルタル	

○ モルタル塗替え工法

改修仕様表4.4.1による

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置

図示

○ _____

○ タイル張り仕上げ

○ 樹脂注入方法

工法	材 料	施 工 箇 所
○ タイル部分張替え工法	○ ポリマーセメントモルタル	
	○ 一液反応硬化形成変成シリコン樹脂系接着剤（JIS A 5557による）	
	○ 外タ樹脂系接着剤（JIS A 5557による）	
○ タイル張替え工法	○ ポリマーセメントモルタル	
	○ 一液反応硬化形成変成シリコン樹脂系接着剤（JIS A 5557による）	
	○ 外タ樹脂系接着剤（JIS A 5557による）	

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置

○ 改修標準仕様書 4.5.1による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

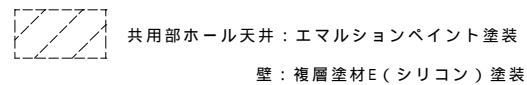
○ 図示による

○ 図示による

○ 図示による

○

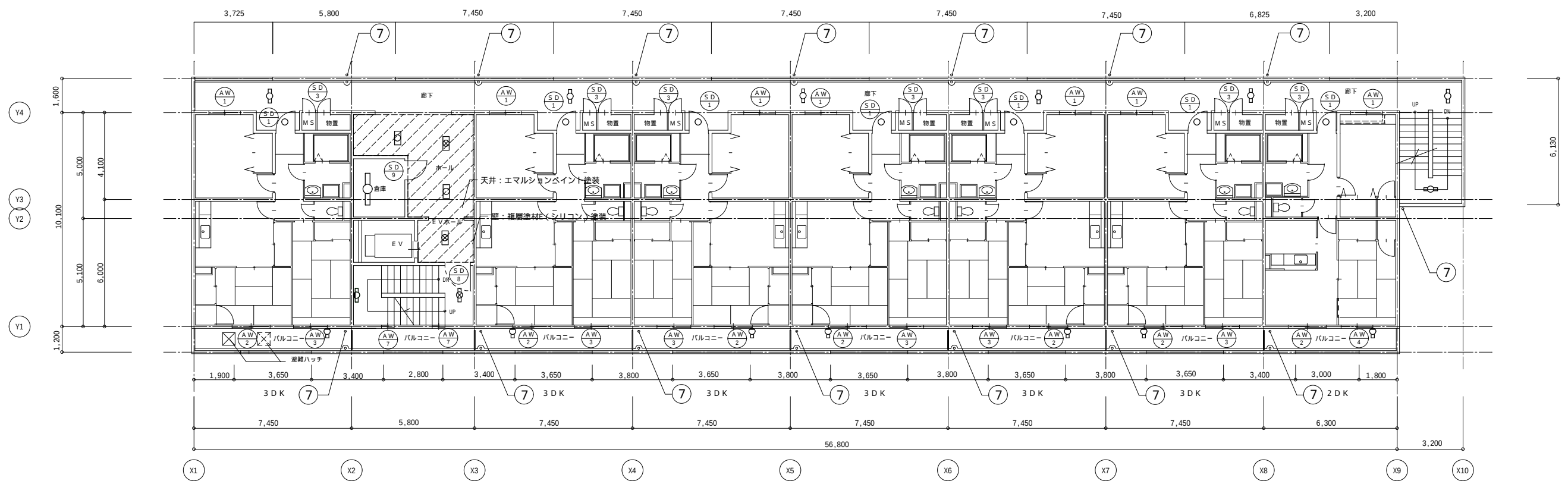
章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項
4	外壁改修工事	複層仕上塗材（ JIS A 6909 ） (表4.2.4) 種 類（呼び名）仕 上 げ工 法備 考 ○ 複層塗材 C E ○ 凸部処理 吹付け ○ 複層塗材 S i ○ 凹凸状 ● 複層塗材 E ○ 複層塗材 R E ● ゆず肌状 ローラー ○ 可とう形複層塗材 C E ○ 凸部処理 ○ 凹凸状 吹付け ○ ゆず肌状 ローラー ○ 防水形複層塗材 C E ○ 凸部処理 吹付け ○ 防水形複層塗材 E ○ 凹凸状 (○ 増塗材) ○ 防水形複層塗材 R E ○ ゆず肌状 ローラー 参考メーカー：エスケー化研㈱、菊水化学工業㈱、日本ペイント㈱ 可とう形改修用仕上塗材（ JIS A 6909 ） (表4.2.4) 種 類（呼び名）仕 上 げ工 法備 考 ○ 可とう形改修塗材 E ○ 平たん状 ローラー ○ 可とう形改修塗材 R E ○ さざ波状 ローラー ○ 可とう形改修塗材 C E ○ ゆず肌状 吹付け 防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う（参考工法：製造所：） ○ 行わない 仕上塗材の耐候性 ○ 耐候形 3 種 ● 耐候形 1 種 仕上塗材の上塗材 溶媒 ● 水系 ○ 弱溶剤系 ○ 溶剤系 樹脂 ○ アクリル系 ● シリコン系 外観 ● つや有 ○ つやなし ○ メタリック 既存塗膜の除去方法 ○ サンダー工法（試験施工実施） ○ 高圧水洗工法（試験施工実施）（加圧力 ○ 30Mpa ○ ） ○ 塗膜はく離剤工法（製造所：） ● 水洗い工法（ ○ デッキワシ ● 高圧ホッパ 10～15pa ） 既存塗膜の除去範囲 既存仕上げ面全体 ○ 既存壁面の（ % ） ○ 別図に示す範囲 下地処理 下地のひび割れ部等の補修 ○ 図示による 下地調整材 セメント系下地調整材（ JIS A 6916 ） ○ ポリマーセメントモルタル ○ 防水形仕上塗材主材（ JIS A 6910(複層仕上塗材)） 15 マスチック塗材 種別 ○ A 種 ○ B 種 塗り (表4.6.7) 4.7.2 16 部分改修工法 仕上塗材の種類 ○ 薄付け仕上塗材 ○ 厚付け仕上塗材又は複層仕上塗材 (表4.6.6) 4.6.6 ○ 防水形複層仕上塗材 ○ マスチック塗材 施工面所 ○ 別図に示す範囲 17 外壁用塗膜防水 外壁用塗膜防水塗り 材塗り (表4.1.5) 4.1.5 4.2.2 4.8.2 仕上りの形状 工法 外壁用仕上塗材の耐候性 JIS A 6909の耐候性 種相当 ○ 下地塗料緩衝材の適用 ○ 適用する ○ 適用しない 吹付け工法の模様材の種類 所要量 (kg/㎡) 外壁用仕上塗材の種類 所要量 (kg/㎡) 1 性能 「第 1 章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 2 施工数量調査 行う（○ 建具金物 ○ ガラス ○ ガラス止め材 ○ ） (表4.5.2) 4.5.2 施工に先立ち、施工数量調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。 ○ 行わない 3 改修工法 既存建具を新規建具に改修する場合 (表5.1.3) 5.1.3 かぶせ工法（○ カバー工法 ○ 持出し工法 ○ ノンソール工法） ○ 撤法工法（○ はつり工法 ○ 引き抜き工法） 新規に建具を設置する場合 新規建具を設ける壁の開口方法 図示による ○ 新規建具周囲の補修工法及び範囲 図示による ○ 4 防火戸 図示による ○ (表5.1.4) 5.1.4 ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ○ 連動させる（ 建具表による ○ ） ○ 連動させない 5 見本の製作等 建具見本の製作 ○ 行う（建具番号） (表5.1.5) 5.1.5 特殊な建具の仮組 ○ 行う（建具番号） (表5.1.6) 5.1.6 ○ ブラインドボックス等の再使用（ ） 6 防犯建物部品 開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 (表5.4.7) 5.4.7 ドア 適用箇所（ ） サッシ 適用箇所（ ） シャッター 適用箇所（ ）	7 アルミニウム製建具 (表5.2.2) (表5.2.2) 5.2.2 ～ (5.2.5) 5 建具改修工事 表面処理 (表5.2.2) (表5.2.2) 5.2.2 種 別色施 工 面 所 ○ B B - 1 種 ○ 標準 特注 図示による ○ ○ B B - 2 種 ○ 標準 特注 図示による ○ ○ ○ 標準 特注 ○ ○ 標準 特注 ○ ○ 標準 特注 ○ ○ 標準 特注 ○ 防音ドア、防音サッシとする場合（遮音性の等級） ○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合（断熱性の等級） ○ 耐震ドアとする場合（面内変形追随性の等級） 結露水の処理方法 図示による ○ 水切り、ぜん板等 図示による ○ 出入口のくつりにステンレスを使用する場合は図示による。 8 網戸等 (表5.2.3) (表5.2.3) 5.2.3 5.3.3 9 樹脂製建具 (表5.3.1) (表5.3.1) 5.3.2 ～ (5.3.4) 5.3.2 ～ (5.3.4) 性能等級 ○ A 種 ○ B 種 ○ C 種 耐風圧性 S - 4 ○ S - 5 ○ S - 6 ○ 気密性 A - 4 ○ 水密性 W - 4 ○ W - 5 ○ 枠見込み(mm) 図示 ○ ○ 防音ドア、防音サッシとする場合（遮音性の等級 ○ T-1 ○ T-2 ○ ） ○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合（断熱性の等級 ○ H-4 ○ H-5 ○ H-6 ） ガラス 複層ガラス ○ 単板ガラス ○ 三重ガラス ○ 表面色 ○ 標準色 ○ 特注色 10 鋼製建具 (表5.2.1) (表5.2.1) 5.2.1 5.4.2 ～ (5.4.4) 5.2.1 5.4.2 ～ (5.4.4) 外部に面する建具の耐風圧性 ○ S - 4 ○ S - 5 ○ S - 6 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する ○ 適用しない ○ 防音ドア、防音サッシとする場合（遮音性の等級） ○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合（断熱性の等級） ○ 耐震ドアとする場合（面内変形追随性の等級） JISただし書き建具の寸法許容差（これ以外は改修標仕による） 製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板類の厚さ 表5.4.2(片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅 が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ○ mm 簡易気密型ドアセットの気密性 適用する（ A - 3 ） ○ 適用しない ○ 防音ドア、防音サッシとする場合（遮音性の等級） ○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合（断熱性の等級） ○ 耐震ドアとする場合（面内変形追随性の等級） 鋼板 表面処理亜鉛めっき鋼板 ○ ビニル被覆鋼板 ○ カラー鋼板 ○ ステンレス鋼板 鋼板類の厚さ 表5.5.1(片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅 が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ○ mm 召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板 ○ 12 ステンレス製建具 (表5.2.1) (表5.2.1) 5.2.1 5.6.2 ～ (5.6.5) 5.2.1 5.6.2 ～ (5.6.5) 外部に面する建具の耐風圧性 ○ S - 4 ○ S - 5 ○ S - 6 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する ○ 適用しない ○ 防音ドア、防音サッシとする場合（遮音性の等級 ○ T-1 ○ T-2 ○ T-3 ○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合（断熱性の等級 ○ H-2 ○ H-3 ○ 耐震ドアとする場合（面内変形追随性の等級 ○ D-1 ○ D-2 ステンレス鋼板の種類 ○ SUS304 ○ SUS430J1L ○ SUS443J1 ○ JISただし書き建具の寸法許容差 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ H L ○ 鏡面 曲げ加工 普通曲げ ○ 角出し曲げ	13 建具用金物 (表5.7.2) (表5.7.2) 5.7.2 ～ (5.7.4) 5 建具改修工事 マスターキーの製作 作成する（グループ、各グループ 個） ○ 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 鍵の制作本数 3 本 1 組 ○ 開き戸 (表5.7.1) (表5.7.1) 5.7.1 金 物 の 種 類 見 え 掛 り 部 の 材 質 そ の 他 ○ シリンダー錠 ○ 握り玉：ｽﾌﾟﾘｽ ○ 取付位置 ○ ｲﾊﾞｰﾛｯﾄﾞﾙ：ｽﾌﾟﾘｽ、(○ 黄銅) () ○ ｼﾘﾝﾀﾞｰｶｰｰ：ｽﾌﾟﾘｽ (鋼製建具、鋼製軽量建具、ｽﾌﾟﾘｽ建具) グﾚｰﾄﾞ 3 以上 ○ 耐じん性能のグﾚｰﾄﾞ ○ ○ 本線り錠 ｼﾘﾝﾀﾞｰｶｰｰ：ｽﾌﾟﾘｽ 実用性能項目 グﾚｰﾄﾞ 3 以上 鋼製建具、鋼製軽量建具、ｽﾌﾟﾘｽ建具) ○ 耐じん性能のグﾚｰﾄﾞ ○ ○ 空錠 ○ 握り玉：ｽﾌﾟﾘｽ ○ 取付位置 ○ ｲﾊﾞｰﾛｯﾄﾞﾙ：ｽﾌﾟﾘｽ、(○ 黄銅) () ○ グレモン錠 ｲﾊﾞｰﾛｯﾄﾞﾙ：亜鉛合金、(○ ｽﾌﾟﾘｽ) ○ 取付位置 () ケースハンドル錠 ステンレス 点検口錠 亜鉛合金程度、(○ ｽﾌﾟﾘｽ) 丁番 ｽﾌﾟﾘｽ、(○ 黄銅) ○ ビボットピンジ ｶｰｰ部：ｽﾌﾟﾘｽ、(○ 亜鉛合金) 亜鉛合金は木製建具用のみ 点検口輪吊りピンジ 建具製作所の仕様による ○ 自開装置付き ○ フロアピンジ ｶｰｰ部：ｽﾌﾟﾘｽ、(本体は鋼) ドアクローザー ○ ピンジ ｶｰｰ(丁番型) 鋼(焼付け塗装) ○ 遅延閉り機能付き ○ ピンジ ｶｰｰ(ﾋﾞﾎﾞｯﾄ型) ｶｰｰ部：ｽﾌﾟﾘｽ、(本体は鋼) ○ ドアクローザー 本体：ｽﾌﾟﾘｽ、(○ 亜鉛合金) ｽﾑｰﾙ部：鋼(焼付け塗装) 閉鎖順位調整器 ｽﾌﾟﾘｽ、(○ 鋼) ○ 取付位置 ○ 押棒・押板 (○ ｽﾌﾟﾘｽ、○ 黄銅 ○ 合成樹脂) () 上げ落し 亜鉛合金程度、(○ ｽﾌﾟﾘｽ) (フランス落し) ○ ｱｰﾙｽﾄｰﾊﾞｰ 鋼(ｶｰｰめっき)、(○ ｽﾌﾟﾘｽ) 戸当り 亜鉛合金程度、(○ ｽﾌﾟﾘｽ、○ 黄銅) ○ あり止め付き 引戸 (表5.7.1) (表5.7.1) 5.7.1 金 物 の 種 類 見 え 掛 り 部 の 材 質 そ の 他 引戸用錠 木製建具の場合 :ｼﾘﾝﾀﾞｰｶｰｰ等はｽﾌﾟﾘｽ クレセント 建具製作所の仕様による。 ○ 取付位置 () 引手類 木製建具の場合:ｽﾌﾟﾘｽ (○ 黄銅) 戸車 (上吊りの場合を除く) レール ステンレス、 (上吊りの場合を除く) (○ ｽﾌﾟﾘｽ、○ 黄銅) 黄銅は木製建具用のみ 金属製建具用丁番 表 5.7.2による ○ 樹脂製建具用丁番 表 5.7.3による ○ 駆動装置及び検出装置の性能 ○ 引き戸駆動装置性能値 改修標仕 表5.8.1による(○ SSLD-1 ○ SSLD-2 ○ DSLD-1 ○ DSLD-2) ○ 種類・開閉方式 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防 錆 電 源 ○ 多機能トイレ																



旧照明器具 リスト				新設照明器具 リスト				
	F L 20W × 1	防水直付灯	公共施設品番 FSS4MP-201-GL	36灯		防水直付灯	MY-WV208530/N	36灯
	F L 20W × 1	埋込下面開放	公共施設品番 FRS2-201-GH	9灯		埋込下面開放	MY-B208232/N	9灯
	F L 20W × 1	埋込下面開放 (電池内蔵型)	公共施設品番 K1-FRS2-201-GL	10灯		埋込下面開放 (電池内蔵型)	MY-BH208232C/N	10灯
	F L 20W × 1	直付灯 (電池内蔵型)	公共施設品番 SK1-FSS4-201-GL	5灯		直付灯 (電池内蔵型)	MY-VH208230C/N	5灯
	F L 20W × 1	階段ブラケット (電池内蔵型)	公共施設品番 SK1-FST12-201-GL	4灯		階段ブラケット (電池内蔵型)	EL-LF-VH2161	4灯
	I L 40W × 1	防湿ブラケット	LW56137T	35灯		防湿ブラケット	LGW85015SF	35灯
	I L 60W × 1	防湿直付灯	LW56258T	35灯		防湿直付灯	LGW85076B	35灯
	F D L 13W × 1	埋込灯 (フットライト)	YF11481EL	2灯		埋込灯 (フットライト)	NNN92900	2灯
	F L 40W × 1	直付灯	公共施設品番 FSS4-401	5灯		直付灯	LS9-4-23LN	5灯

建 具 リ ス ト							建 具 リ ス ト						
記号	箇所数	W 寸法	H 寸法	開口面積	塗装	シーリング 打替え	記号	箇所数	W 寸法	H 寸法	開口面積	シーリング 打替え	
SD-1	34	900	1,900	58.14	—	—	AW-1	35	1,500	1,300	68.25	—	
SD-2	1	1,000	2,100	2.10	—	—	AW-2	34	1,800	1,900	116.28	有(下部のみ)	
SD-3	35	1,500	1,800	94.50	SOP塗装	有	AW-3	29	1,600	1,900	88.16	有(下部のみ)	
SD-4	1	1,900	2,000	3.80	SOP塗装	有	AW-4	5	1,500	1,900	14.25	有(下部のみ)	
SD-5	1	900	2,000	1.80	SOP塗装	有	AW-5	1	1,925	1,900	3.65	—	
SD-6	1	700	600	0.42	SOP塗装	有	AW-6	1	1,600	1,900	3.04	—	
SD-7	1	400	600	0.24	SOP塗装	有	AW-7	9	600	600	3.24	有(下部のみ)	
SD-8	5	1,200	2,000	12.00	SOP塗装	有							
SD-9	5	900	2,000	9.00	SOP塗装	有							
合 計				182.00㎡	111.46㎡	227.4m	合 計				296.87㎡	107.4m	

改 修 仕 上 表			
①	屋根：塩ビシート防水（S-F2工法） 階段室屋根：塩ビシート防水（S-F2工法）	⑥	手摺パネル面（ポリエチレン複合板）：つや有り合成樹脂エマルションペイント塗
②	屋根（ガルバリウム鋼板）：耐候性塗料塗り（アクリルシリコン樹脂塗料）	⑦	樋（掴み金物含む）：撤去新設 硬質ポリ塩化ビニル管(カー) 豎管φ100 横走り管φ75
③	外壁（P C 版素地の上吹付タイル）・軒裏：複層塗材 E（シリコン系）塗装	⑧	スロープ、廊下階段踏面部：ノンスリップ塗床材塗
④	外壁 P C 版間目地：ポリウレタン系シーリング打替え	⑨	ゴミ置場・駐輪場（鉄部）：耐候性塗料塗り（ポリウレタン系塗料）
⑤	建具廻りシーリング：変性シリコン系シーリング打替え		

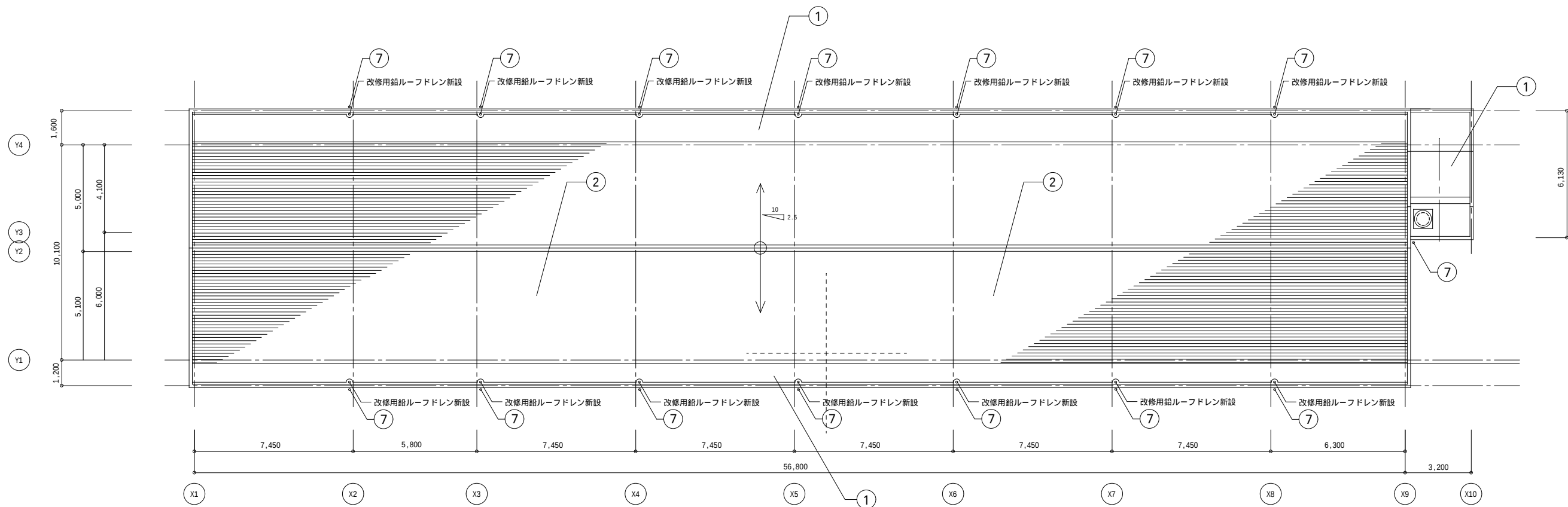


2 ～ 5 階 平 面 図

共用部ホール天井：エマルジョンペイント塗装
壁：複層塗材E（シリコン）塗装

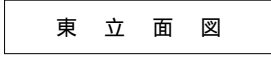
改 修 仕 上 表

①	屋根：塩ビシート防水（S-F2工法） 階段室屋根：塩ビシート防水（S-F2工法）
②	屋根（ガルバリウム鋼板）：耐候性塗料塗り（アクリルシリコン樹脂塗料）
③	外壁（P C 版素地の上吹付タイル）・軒裏：複層塗材E（シリコン系）塗装
④	外壁P C 版間目地：ポリウレタン系シーリング打替え
⑤	建具廻りシーリング：変性シリコーン系シーリング打替え
⑥	手摺パネル面（ポリエチレン複合板）：つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗
⑦	樋（掴み金物含む）：撤去新設 硬質ポリ塩化ビニル管（カー） 縦管φ100 横走り管φ75
⑧	スロープ、廊下階段踏面部：ノンスリップ塗床材塗
⑨	ゴミ置場・駐輪場（鉄部）：耐候性塗料塗り（ポリウレタン系塗料）

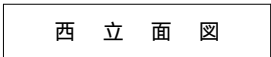


屋根伏図

改 修 仕 上 表	
①	屋根：塩ビシート防水（S-F2工法） 階段室屋根：塩ビシート防水（S-F2工法）
②	屋根（ガルバリウム鋼板）：耐候性塗料塗り（アクリルシリコン樹脂塗料）
③	外壁（P C 版素地の上吹付タイル）・軒裏：複層塗材 E（シリコン系）塗装
④	外壁 P C 版間目地：ポリウレタン系シーリング打替え
⑤	建具廻りシーリング：変性シリコーン系シーリング打替え
⑥	手摺パネル面（ポリエチレン複合板）：つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗
⑦	樋（掴み金物含む）：撤去新設 硬質ポリ塩化ビニル管（加工） 縦管φ100 横走り管φ75
⑧	スロープ、廊下階段踏面部：ノンスリップ塗床材塗
⑨	ゴミ置場・駐輪場（鉄部）：耐候性塗料塗り（ポリウレタン系塗料）



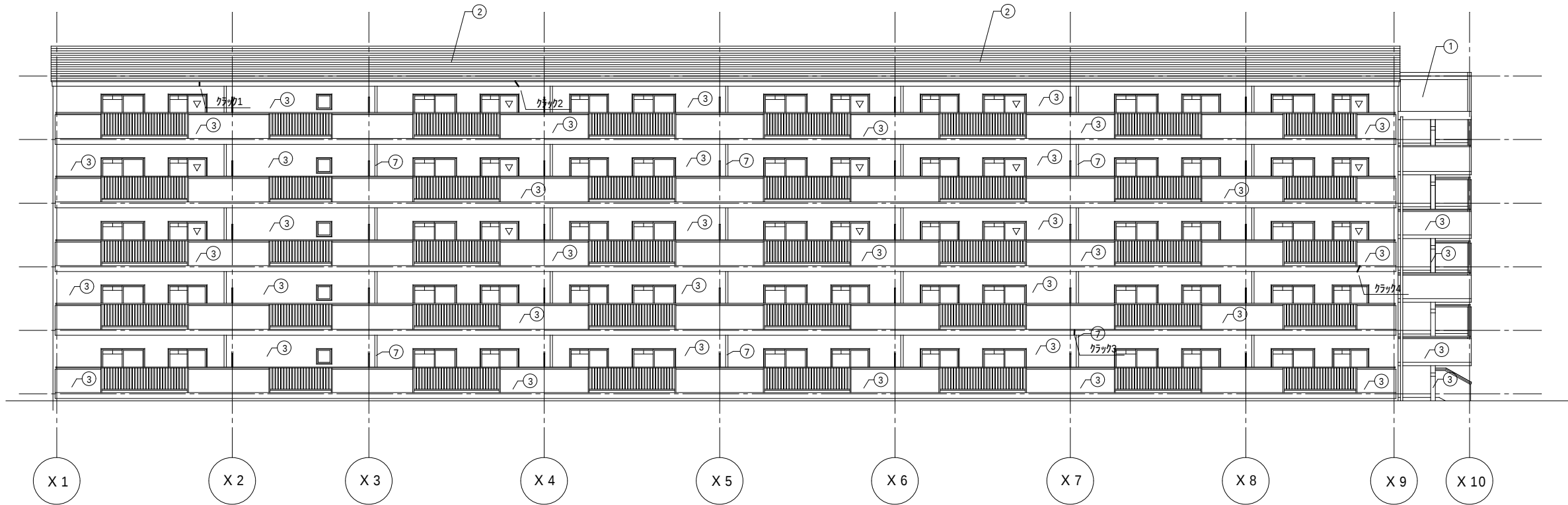
備考	吉 村 建 築 事 務 所 1級建築士登録第248236号 吉 村 薫			工事名	横島吹前市営住宅9号棟外壁ほか改修工事	設計年月日	R7 . 5 .	図面番号 A — 11
				図面名	改 修 東 立 面 図	縮尺	1 / 1 0 0	



100 × 100 : 1ヶ所

①	屋根：塩ビシート防水（S-F2工法） 階段室屋根：塩ビシート防水（S-F2工法）
②	屋根（ガルバリウム鋼板）：耐候性塗料塗り（アクリルシリコン樹脂塗料）
③	外壁（ＰＣ版素地の上吹付タイル）・軒裏：複層塗材Ｅ（シリコン系）塗装
④	外壁ＰＣ版間目地：ポリウレタン系シーリング打替え
⑤	建具廻りシーリング：変性シリコン系シーリング打替え
⑥	手摺パネル面（ポリエチレン複合合板）：つや有り合成樹脂エマルションペイント塗
⑦	樋（掴み金物含む）：撤去新設 硬質ポリ塩化ビニル管（ｶｰﾍﾞﾙ） 縦管φ100 横走り管φ75
⑧	スロープ・廊下階段踏面部：ノンスリップ塗床材塗
⑨	ゴミ置場・駐輪場（鉄部）：耐候性塗料塗り（ポリウレタン系塗料）

A — 12

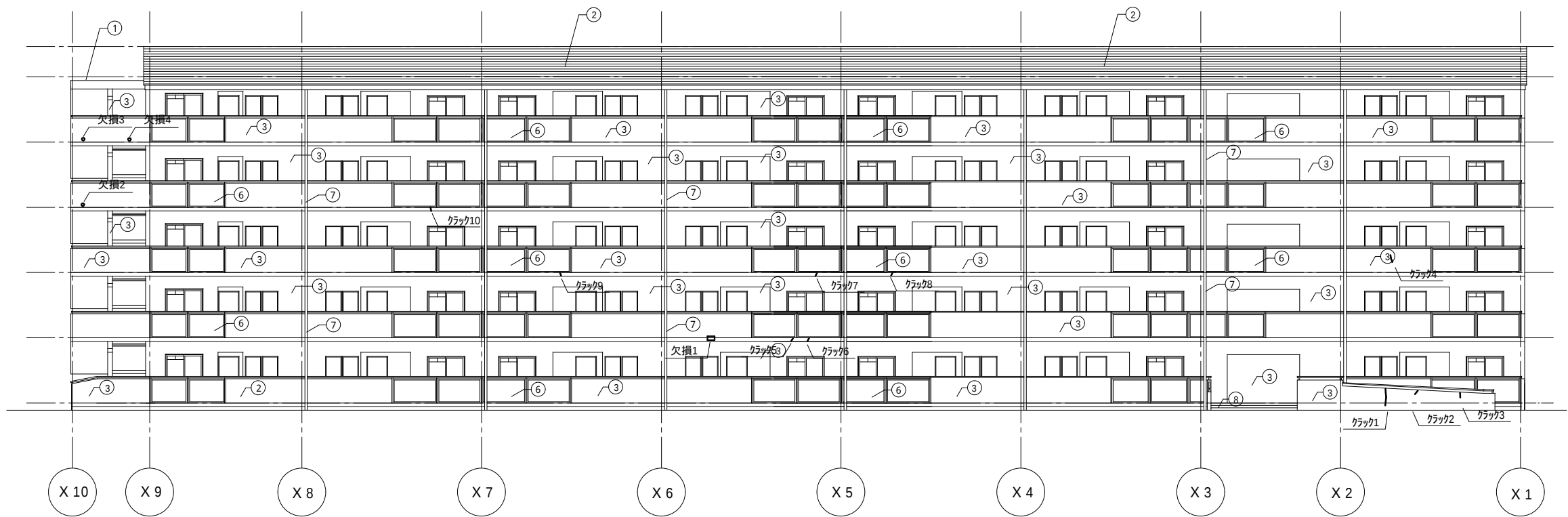


南 立 面 図

外壁 ひび割れ、露筋欠損部 参考数量

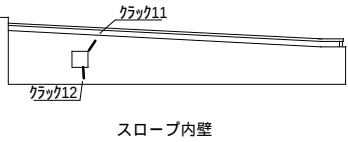
- ひび割れ(0.2mm未満) : ポンドシール工法 (6.3m)
- ひび割れ(0.2mm以上～1.0mm以下) : ポンドOGS工法 (0.00m)
- 露筋欠損部 : エポキシ樹脂モルタル充填工法 (24か所)
 - 50×50 : 23ヶ所
 - 100×100 : 1ヶ所

改 修 仕 上 表	
①	屋根 : 塩ビシート防水 (S-F2工法) 階段室屋根 : 塩ビシート防水 (S-F2工法)
②	屋根 (ガルバリウム鋼板) : 耐候性塗料塗り (アクリルシリコン樹脂塗料)
③	外壁 (P C 版素地の上吹付タイル) ・軒裏 : 複層塗材 E (シリコン系) 塗装
④	外壁 P C 版間目地 : ポリウレタン系シーリング打替え
⑤	建具廻りシーリング : 変性シリコーン系シーリング打替え
⑥	手摺パネル面 (ポリエチレン複合板) : つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗
⑦	樋 (掴み金物含む) : 撤去新設 硬質ポリ塩化ビニル管 (カー) 縦管φ100 横走り管φ75
⑧	スロープ、廊下階段踏面部 : ノンスリップ塗床材塗
⑨	ゴミ置場・駐輪場 (鉄部) : 耐候性塗料塗り (ポリウレタン系塗料)



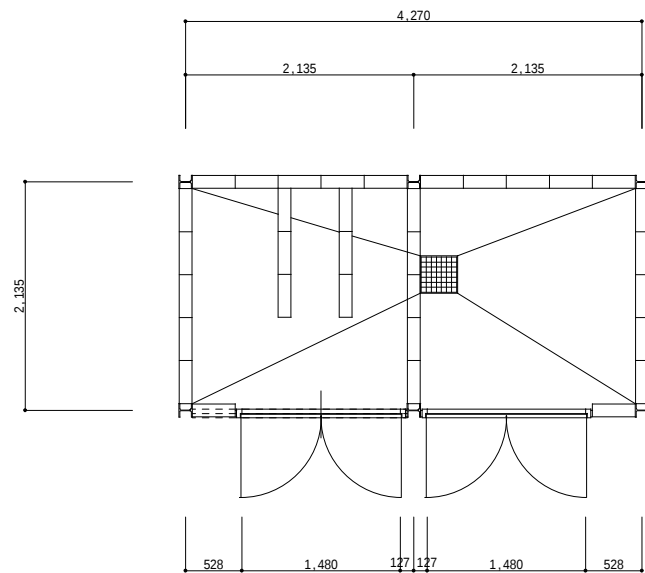
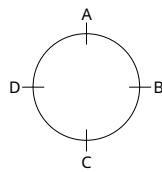
北 立 面 図

外壁 ひび割れ、露筋欠損部 参考数量
ひび割れ(0.2mm未満)：ボンドシール工法(13.30m)
ひび割れ(0.2mm以上～1.0mm以下)：ボンドOGS工法(0.00m)
露筋欠損部：エポキシ樹脂モルタル充填工法(15か所)



改 修 仕 上 表	
①	屋根：塩ビシート防水（S-F2工法） 階段室屋根：塩ビシート防水（S-F2工法）
②	屋根（ガルバリウム鋼板）：耐候性塗料塗り（アクリルシリコン樹脂塗料）
③	外壁（P C 版素地の上吹付タイル）・軒裏：複層塗材 E (シリコン系) 塗装
④	外壁 P C 版間目地：ポリウレタン系シーリング打替え
⑤	建具廻りシーリング：変性シリコーン系シーリング打替え
⑥	手摺パネル面（ポリエチレン複合板）：つや有り合成樹脂エマルションペイント塗
⑦	樋（掴み金物含む）：撤去新設 硬質ポリ塩化ビニル管(加-) 縦管φ100 横走り管φ75
⑧	スロープ、廊下階段路面部：ノンスリップ塗床材塗
⑨	ゴミ置場・駐輪場（鉄部）：耐候性塗料塗り（ポリウレタン系塗料）

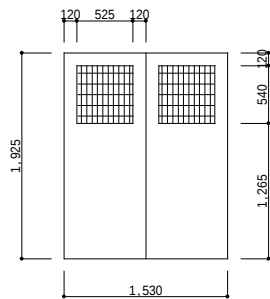
軒先部分詳細図（現況）		1 / 1 0		軒先部分詳細図（改修）		1 / 1 0					
塩ビ被覆鋼板 設置位置図		1 / 3		ドレン廻り							
備考		1級建築士登録第248236号 吉村 薫		吉 村 建 築 事 務 所		工事名 横島吹前市営住宅9号棟外壁ほか改修工事		設計年月日 R7 . 5		図面番号 A — 15	
						図面名 防水各部詳細図		縮尺 1/3・1/10			



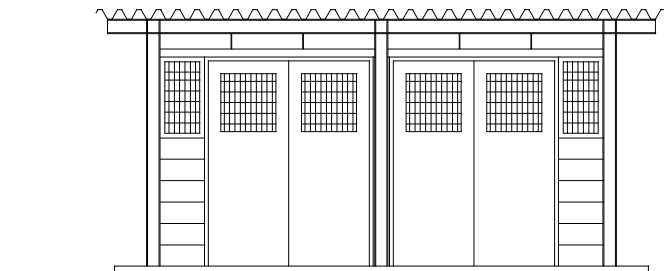
平面図 1/50

仕上表

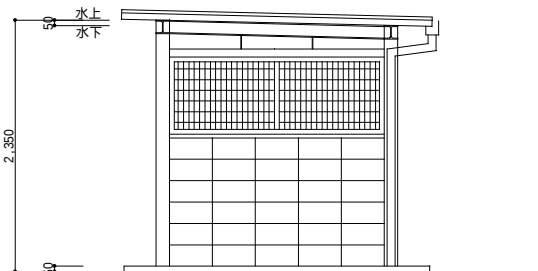
屋根	ルーフデッキ（亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装）葺 厚0.6H＝85 タイトフレーム・軒先化粧フレーム・面戸 カラー軒樋 塩ビ130×120×80、竪樋 塩ビカラーΦ75
壁	C B 厚120化粧種 鉄部全てSOP塗（油性フタル酸樹脂塗料）



スチール製両開きフラッシュ扉 SOP塗
枠見込 80 扉 36
下枠ステンレス ステンレス丁番 フランス落とし
打ち掛け金物 樹脂コーティングネット張り

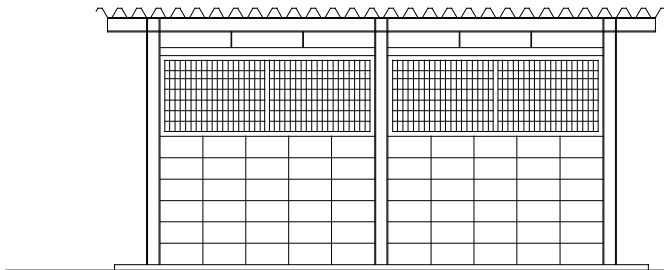


C 立面図 1/50

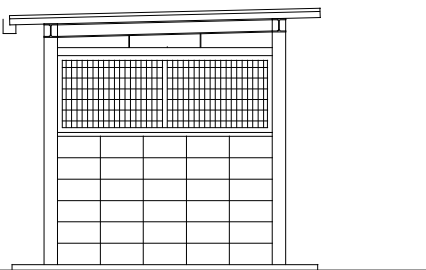


B 立面図 1/50

屋根、扉含め鉄部全て下地処理の上、耐候性塗料塗（ポリウレタン系）
外壁（CB）外部のみ下地処理の上、耐候性塗料塗（ポリウレタン系）



A 立面図 1/50



D 立面図 1/50

正 面 図 1/50

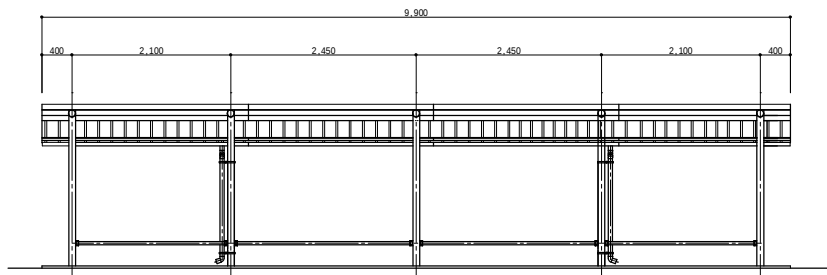
側 面 図 1/50

平 面 図 1/50 同規模駐輪場2基有り

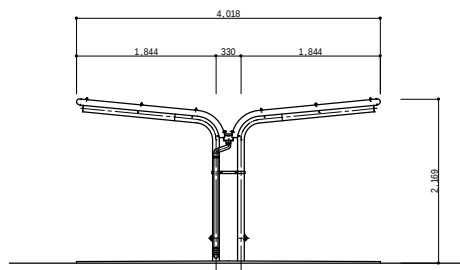
鉄部全て下地処理の上、耐候性塗料塗（ポリウレタン系）

旧照明器具 リスト					新設照明器具 リスト				
	F L 20W × 1	防湿型 オートレフ	公共施設設備番 FBC1RP-201-GL	2灯		防湿型 オートレフ	公共施設設備番 LBF3MP/ RP-2-06	2灯	

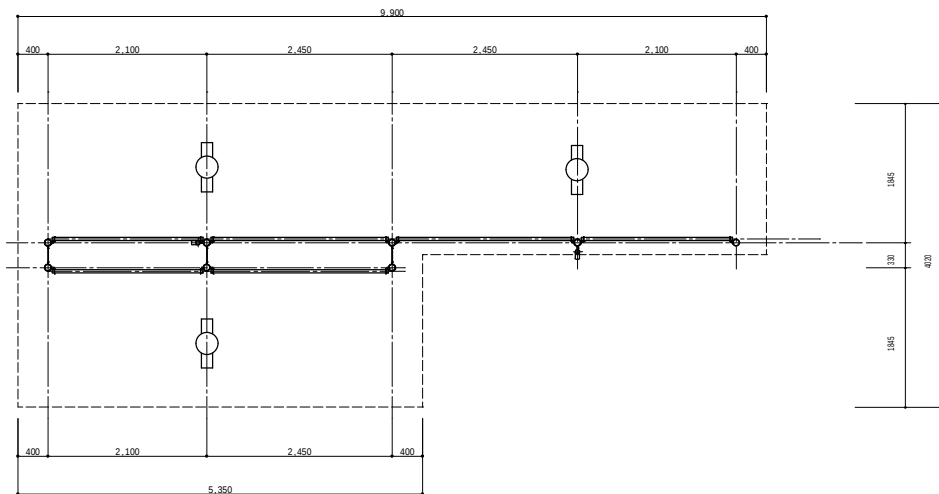
断面詳細図 1/20



正面図 1/50



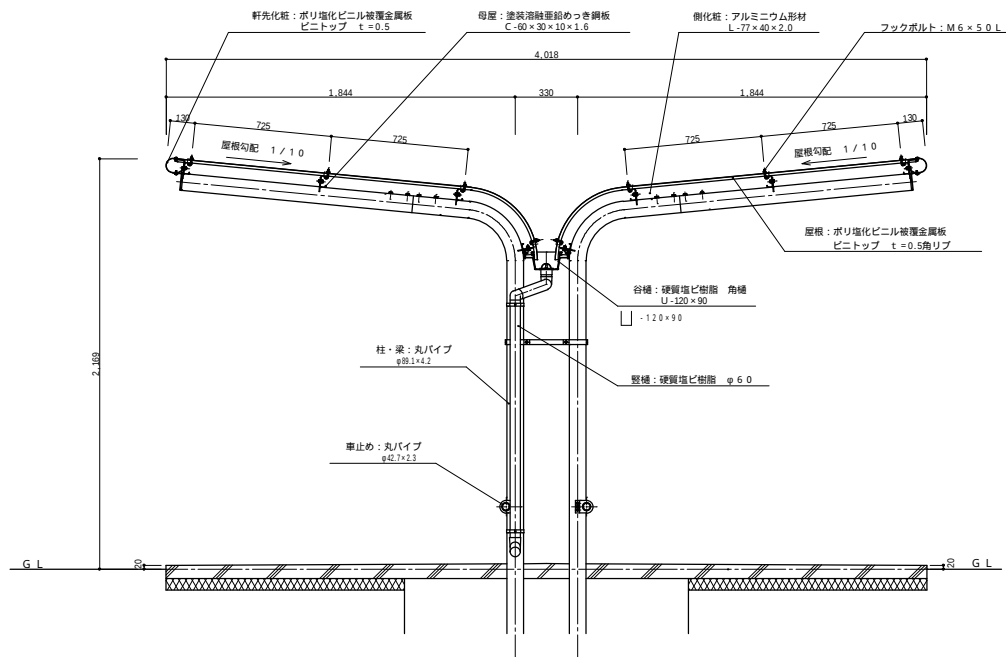
側面図 1/50



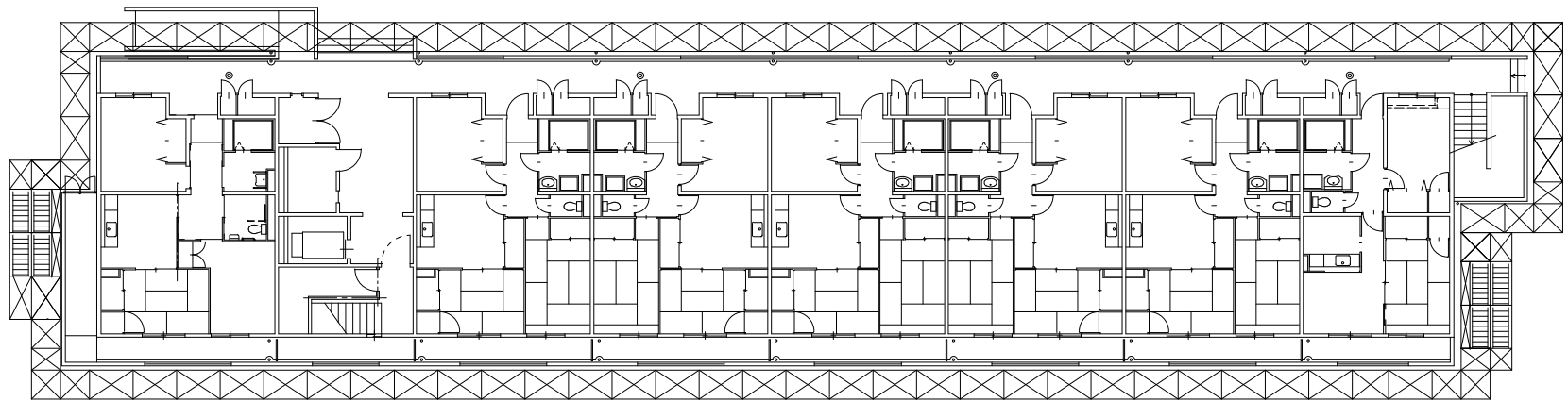
平面図 1/50

鉄部全て下地処理の上、耐候性塗料塗（ポリウレタン系）

旧照明器具 リスト					新設照明器具 リスト				
	F L 20W × 1	防湿型クォーﾀ	公共施設品番 FBC1RP-201-GL	3灯		防湿型クォーﾀ	公共施設品番 LBF3MP/RP-2-06	3灯	

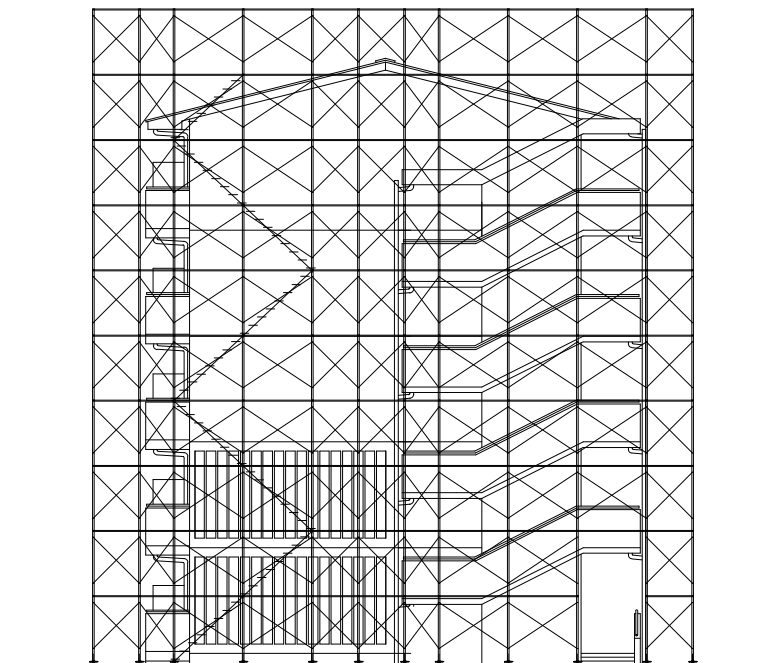


断面詳細図 1/20

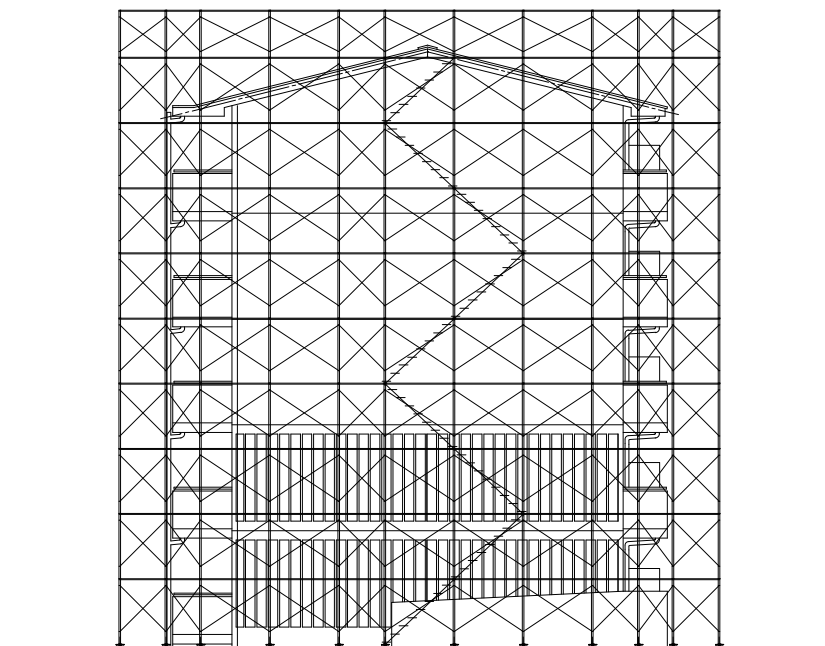


1 階 平 面 図

備考	吉 村 建 築 事 務 所 1級建築士登録第248236号 吉 村 薫		工事名 横島吹前市営住宅9号棟外壁ほか改修工事 図面名 外部足場 1階平面図（参考）	設計年月日 R 7 . 5 . 縮尺 1/150	図面番号 A — 19
---------------	---	--	--	--	-----------------------------------

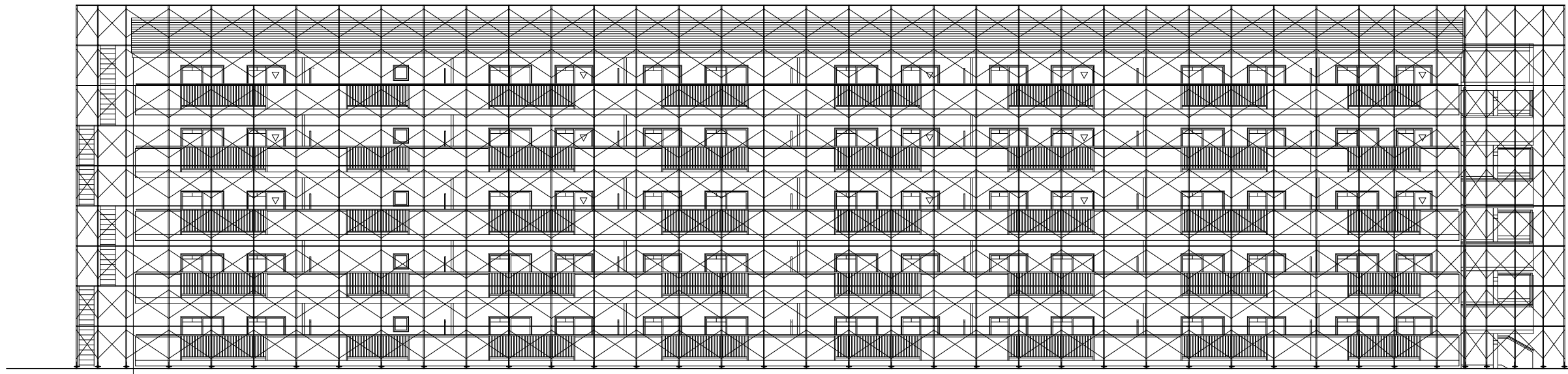


東立面図

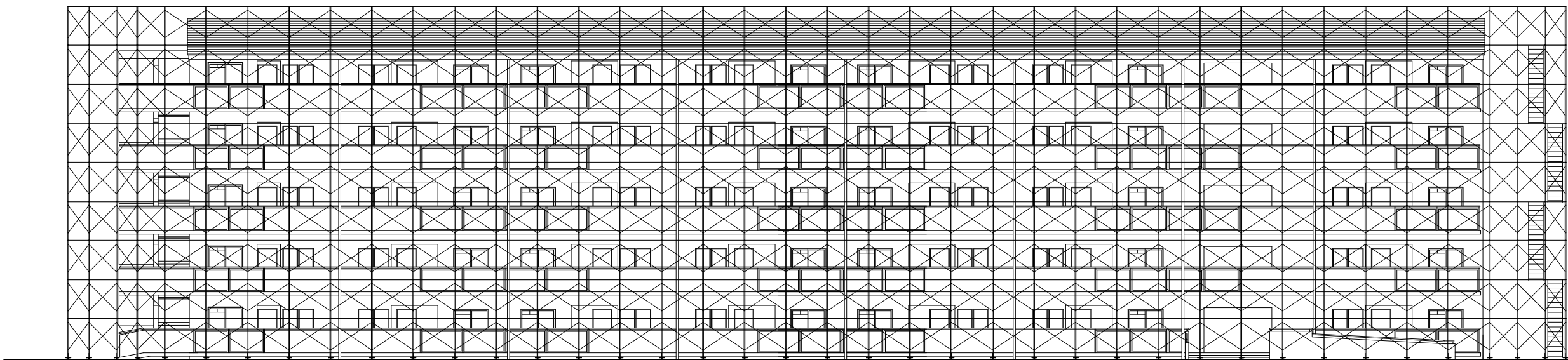


西立面図

図号	吉村建築事務所 1級建築士登録第248236号 吉村 薫		工事名 横島吹前市営住宅9号棟外壁ほか改修工事 図面名 外部足場 東立面図・西立面図（参考）	設計年月日 R 7 . 5 . 縮尺 1/100	図面番号 A — 20
---------------	--	--	--	--	-----------------------------------



南 立 面 图



北 立 面 图

備考	吉 村 建 築 事 務 所 1級建築士登録第248236号 吉 村 薫		工事名 横島吹前市営住宅9号棟外壁ほか改修工事	設計年月日 R 7 . 5 .	図面番号 A — 21
			図面名 外部足場 南立面図・北立面図（参考）	縮尺 1/150	